

事業計画

令和4年度

福島県
県産品加工支援センター

福島県県産品加工支援センター事業計画
令和4年度

目次

1	福島県県産品加工支援センターの概要	
1-1	設置目的	1
1-2	組織	1
1-3	事業	2
2	事業計画の概要	
2-1	加工技術支援事業	3
2-2	6次化技術相談	3
2-3	広報・普及活動	3
2-4	関係機関との連携	3
2-5	加工食品放射能測定事業	3
3	各チームにおける事業計画の概要	
3-1	企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）	4
3-2	食品加工支援チーム （ハイテクプラザ会津若松技術支援センター醸造・食品科）	4
3-3	農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部流通加工科）	4
3-4	農産物流通加工支援チーム分室（農業総合センター農業短期大学校）	4
4	加工支援センターの位置・連絡先	5

1 福島県県産品加工支援センターの概要

1-1 設置目的

福島県の豊かな農林水産資源を基盤とした新たな「食」産業創造を図るために策定された「ふくしま・地域産業6次化戦略」に基づき、県の工業系の試験研究機関である「ハイテクプラザ」と農業系の試験研究機関である「農業総合センター」が連携・協力し、食品加工や流通に関する技術相談や技術支援を通じて「地域産業6次化」を推進するための連携体制として「福島県県産品加工支援センター（以下、「加工支援センター」という。）」を設置する。



1-2 組織

加工支援センターは、ハイテクプラザ会津若松技術支援センター内に企画支援チームと食品加工支援チーム、農業総合センター内に農産物流通加工支援チーム、また、農業総合センター農業短期大学校に同チーム分室と、県内3カ所に活動拠点を置き、3公所が連携して事業を行う。

- (1) 企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）
食品加工・流通に関する技術支援の総合窓口を担う。
- (2) 食品加工支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）
食品加工関連技術に関する調査・研究及び技術支援を担う。
- (3) 農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部、農業総合センター農業短期大学校）
食品加工・流通関連技術に関する調査・研究及び技術支援と食品加工の普及のための研修、指導を担う。

加工支援センター長はハイテクプラザ副所長（業務）、次長はハイテクプラザ会津若松技術支援センター所長及び農業総合センター生産環境部長をもって充てる。

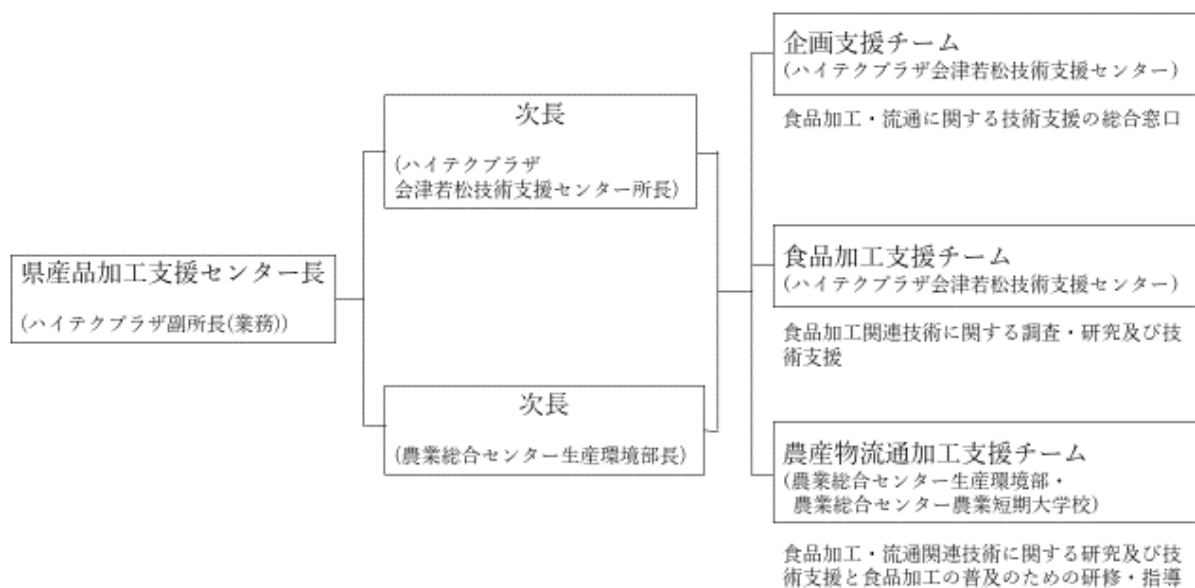


図1 県産品加工支援センター組織図

1-3 事業

加工支援センターは、食品加工等に関する次の業務を所掌するものとし、本庁機関及び各地方振興局、各農林事務所と連携を図り、効果的な食品加工・流通に関する技術支援を行うものとする。

- (1) 技術相談に関すること
- (2) 食品加工・流通関連技術の開発及び成果普及に関すること
- (3) 加工食品の開発支援及び成果普及に関すること
- (4) 関係機関との連携コーディネートに関すること
- (5) その他、県産農林水産物を活用した「食」産業創出にかかる技術支援

2 事業計画の概要

2-1 加工技術支援事業（事業名：「技術で支える県産品加工支援事業」）

(1) 加工技術研修

新商品開発のために、食品加工支援チームや農産物流通加工支援チームが開発した技術及び試験研究成果の移転と普及、並びに農業短期大学校に整備されている加工機器などを使用した研修を2回程度開催する。

(2) 企業訪問による課題解決（重点支援事業）

農林事務所及び振興局から推薦され、センター長が重点支援対象者に決定した事業者に対し、訪問により相談内容を調査するとともに課題を抽出して、解決に向けた助言や指導、情報提供を行う。さらに、必要に応じて技術支援を実施する。

(3) 研修等支援活動

要望のあった団体等へ食品加工の講師派遣を行う。

2-2 6次化技術相談

ハイテクプラザ技術指導等事業により、県内の6次化加工業者に対して技術支援を行う。電話及び来所等による相談対応の他、現地に赴いて相談対応を行う。

2-3 広報・普及活動

(1) 加工支援センターの成果を、支援事例集やホームページ等で公表し、広く周知する。

(2) 地方ネットワーク交流会等で支援内容の紹介を行う。

2-4 関係機関との連携

(1) 各地方の6次化ネットワークの交流会等に参加し、情報交換を図る。

(2) ふくしま農山漁村発イノベーションサポートセンター（ふくしま地域産業6次化サポートセンター）等との連携を図る。

2-5 加工食品放射能測定事業

県内の食品加工業者等を対象とした、ゲルマニウム核種分析装置による加工食品の放射性セシウム測定を行う。

3 各チームにおける事業計画の概要

3-1 企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）

- (1) 食品加工・流通に関する技術支援の総合窓口業務を行う。
- (2) 加工研修や重点支援事業、6次化加工業者に対して技術支援を行う。

3-2 食品加工支援チーム

（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター醸造・食品科）

- (1) 研究課題「福島県産ナシの加工特性の解明」（R04～R05）の研究を行う。
- (2) 食品加工の技術支援を行う。

3-3 農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部流通加工科）

- (1) 県産農産物の加工技術の開発
県産農産物を用いた加工品（あんぽ柿、発芽玄米麴）の品質向上及び安定生産に向けた加工技術の開発や特性の解明を行う。
食品加工支援チームと共同で、ナシの加工特性等を調査する。
- (2) 県農産物の品質保持技術の開発
県産イチゴの流通拡大に資するため、日持ち性を調査するとともに、輸送時の振動が果実品質に与える影響を明らかにする。
- (3) 県農産物の機能性成分の評価と利用技術の開発
県産ブロッコリーに含まれる機能性成分の調査及び加熱処理による成分量の変化を調査する。
県産アスパラガスを一次加工し、より機能性成分を維持できる方法を明らかにする。
- (4) 食品加工・流通関連の技術支援を行う。

3-4 農産物流通加工支援チーム分室（農業総合センター農業短期大学校）

- (1) 加工研修に関する集合研修を基礎コース（春・秋）、応用コース（加工技術応用）に分けて開催する。
基礎コースは営業許可と食品表示、殺菌と包装、瓶詰め・袋詰め食品、事例紹介、応用コースは加工技術応用を実施する。
- (2) 6次化に取り組む農業者からの要請に応じ、随時、施設利用研修を実施する。
- (3) 食品加工・流通関連の技術支援を行う。

4 加工支援センターの位置・連絡先



**ハイテクプラザ
会津若松技術支援センター**
〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字下柳原88番地1
TEL.0242-39-2974(企画)・TEL.0242-39-2976(食品加工)
FAX.0242-39-0335



農業総合センター
〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道116番地
TEL.024-958-1719(農産物流通加工) FAX.024-958-1727



**農業総合センター
農業短期大学校**
〒969-0292 西白河郡矢吹町一本木446番地1
TEL.0248-42-4114(農産物流通加工分室)
FAX.0248-44-4553

企画支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター）

〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字下柳原 88-1
電話(0242)39-2974 FAX(0242)39-0335

食品加工支援チーム（ハイテクプラザ会津若松技術支援センター醸造・食品科）

〒965-0006 会津若松市一箕町鶴賀字下柳原 88-1
電話(0242)39-2977 FAX(0242)39-0335

農産物流通加工支援チーム（農業総合センター生産環境部流通加工科）

〒963-0531 郡山市日和田町高倉字下中道 116
電話(024)958-1719 FAX(024)958-1727

農産物流通加工支援チーム分室（農業総合センター農業短期大学校研修部）

〒969-0292 西白河郡矢吹町一本木 446-1
電話(0248)42-4114 FAX(0248)44-4553